

国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】 : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目		【CP1】大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」: アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ(基礎)」					
	教養科目	【CP1】人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野 [歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など] 社会科学分野 [社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など] 自然科学分野 [化学・物理学・生物学・自然科学 など]							
外国語科目	選択外国語科目	【CP1】12程度の言語から1言語を選択し学ぶ 中国語 スペイン語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語							
	英語科目	CP2] コミュニケーションに重点をおいた英語を集中的かつ総合的に学ぶ 「English for International CommunicationⅠ、Ⅱ」 「Reading/Writing」 「Media English」 「Advanced Reading」				【CP2】コミュニケーションを題材としたさまざまなテーマを英語で学び、実践的かつ専門的な英語の運用能力を高める 「English for International CommunicationⅢ」			
	留学生 英語・日本語科目	【CP2】留学生: 入学時の語学力に応じたレベルの英語科目及び日本語科目により、英語と日本語の4技能をバランス良く修得 「Guided Independent StudyⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」 「Intermediate EnglishⅠ、Ⅱ」 「English for International CommunicationⅠ、Ⅱ」 「日本語特別演習」 「日本語総合講座Ⅰ～Ⅴ」 「ビジネス日本語Ⅰ、Ⅱ」 など							
研究科目	学科指定研究科目	【CP3・4】各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」「英語による研究科目」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する 導入(コース共通必修) 研究コース 基礎(コース共通、コース指定) 発展(コース共通、コース指定) 「国際コミュニケーション入門」「コミュニケーション論Ⅰ」 「異文化コミュニケーション論Ⅰ」 「Introduction to Japan Studies」 コミュニケーション研究 「日本語パブリック・スピーキング」「コミュニケーション研究法」 「多文化社会コミュニケーション論」 「ジャーナリズム論」 など 「日本語イベント」「メディア文化論」「対人コミュニケーション論」など 「多様性とコミュニケーション」 「国際開発論」「国際マーケティング論」「日本倫理思想史」など 「コミュニケーション論特講」「脳・心とコミュニケーション」「Leadership communication」「フィルム・スタディーズ」など 「東アジア政治経済論」「日本外交史」「国際経済論」「Japanese Politics」「Women's Studies in Japan」 など 1年次は研究コースの選択に向け、全コース共通の導入科目、基礎科目を中心に履修。2年次以降は、自身の選択した研究コースのコース指定科目を中心に履修							
	研究科目(その他)	【CP3・4】学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目							
	演習科目・卒業研究	演習科目					【CP4】学術的な観点から研究成果をまとめる(研究演習) 【CP4】実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる(応用演習) 3年次(推奨)または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」: 卒業研究(卒業論文・卒業制作)、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」: レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる		
	卒業研究	【CP4】「研究演習」の成果を「卒業研究」としてまとめる							
自由選択科目		キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当							

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的 (育てたい人物像)

多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

**国際コミュニケーション学科 ディプロマ・ポリシー
【DP1～DP4】
(外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)～(7)と対応)**

【DP1】より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)

- ①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
- ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】高度な英語の運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)

- ①英語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝達する力
- ②英語を使って文化的背景の異なる人々と意思の疎通ができる力
※留学生は英語に加えて日本語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝達する力を備えていること

【DP3】「多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力及びグローバル社会の一員として世界に貢献するための教養と問題解決力」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)

- ①国際関係、国際社会に関する知識や日本の歴史、文化、社会に関する知識を踏まえ、他者と自らの価値を理解し、国際社会の発展に貢献する力
- ②幅広い教養を身につけ、様々なメディアを駆使し、国際社会における喫緊の話題に関して自らの考えをもって積極的に対話に参加し、問題解決に貢献する力

【DP4】「グローバル社会において学修者自身及び他者のキャリア形成を構築し寄与する力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)

- ①国際理解の素養のもと、基本的ビジネスコミュニケーションが日英両語で運用できる力
- ②相互理解の姿勢のもと、互恵の視座で課題解決に貢献する力
- ③日々新たな情報を自らとらえ、行動と結びつけられる力

国際コミュニケーション学科 国際ビジネスキャリア専攻 カリキュラム・マップ

- : 必修科目
- : 選択必修科目
- : 自由選択科目
- 【CP】 : 対応するカリキュラム・ポリシーの項目

		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
基盤教育科目		【CP1】 大学での学びをより深化させ効果的に機能させるためのアカデミック・リテラシーに関する基本的な能力を修得する 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」：アカデミック・ライティング、デジタル・シチズンシップ、クリティカルリーディング、数的思考、キャリアデザインに関する能力を修得		【CP1】 キャリア形成と学問と社会とを結びつけ、継続的に学ぶ力を涵養する 「キャリアデザインⅠ（基礎）」					
教養科目		【CP1】 人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶ 人文科学分野【歴史学・哲学・倫理学・宗教学・文学・美術史学・言語学・心理学・教育学 など】 社会科学分野【社会学・法学・憲法・政治学・経済学・経営学・統計学 など】 自然科学分野【化学・物理学・生物学・自然科学 など】							
外国語科目	選択外国語科目	【CP1】 12程度の言語から1言語を選択し学ぶ 中国語 ス페인語 韓国語 フランス語 ドイツ語 ロシア語 イタリア語 アラビア語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 タイ語							
	英語科目	CP2】 コミュニケーションに重点をおいた英語を集中的かつ総合的に学ぶ 「English for International CommunicationⅠ、Ⅱ」 「Reading/Writing」 「Media English」 「Advanced Reading」				【CP2】 コミュニケーションを題材としたさまざまなテーマを英語で学び、実践的かつ専門的な英語の運用能力を高める 「English for International CommunicationⅢ」			
研究科目	学科指定研究科目	【CP3・4】 各年次に配置された「導入」「基礎」「発展」「英語による研究科目」の履修、および2年次前期の研究コースの選択により、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得する 導入（コース共通必修） 研究コース 基礎（コース共通、コース指定） 発展（コース指定） 「国際ビジネス・コミュニケーション論」 コース共通必修 「企業研究」「経営戦略」「ビジネスリサーチ演習」「ビジネス・インターンシップ」 コミュニケーション研究 「日本語パブリック・スピーキング」「組織コミュニケーション論」「対人コミュニケーション論」「メディア表現論」など 「多様性とコミュニケーション」「コミュニケーション論特講」「脳・心とコミュニケーション」「Leadership communication」「Media and Japanese society」など 国際ビジネス研究 「国際経営論」「国際マーケティング論」「商法概論」「国際ビジネス法」「企業財務」など 「マーケティングリサーチ」「企業行動論」「アントレプレナーシップ論」など 1年次は研究コースの選択に向け、全コース共通の導入科目、基礎科目を中心に履修。2年次以降は、自身の選択した研究コースのコース指定科目を中心に履修							
	研究科目（その他）	【CP3・4】 学科の枠を越えた横断的かつ専門的な学びを提供する 他学科の学科・専攻指定科目、学科・専攻に属さない研究科目から選択 児童英語教員養成科目、日本語教員養成科目、通訳・翻訳科目、コミュニケーション系科目、文化・芸術系科目、国際・法律系科目、政治経済・地域社会系科目 など幅広い分野の科目							
	演習科目・卒業研究	演習科目							【CP4】 学術的な観点から研究成果をまとめる（研究演習） 【CP4】 実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる（応用演習） 3年次（推奨）または4年次に、研究演習または応用演習のいずれかを修得 「研究演習」：卒業研究（卒業論文・卒業制作）、ゼミ論文・ゼミプロジェクトの完成を目指す 「応用演習」：レポート・報告会でのプレゼンテーション等により成果をまとめる
	卒業研究							【CP4】 「研究演習」の成果を「卒業研究」としてまとめる	
自由選択科目		キャリア科目、海外実地研修、トライ外国語科目、検定試験の単位認定 など また、各科目群の要件を超えて修得した単位も自由選択科目として卒業要件に充当							

神田外語大学 建学の理念 「言葉は世界をつなぐ平和の礎」

教育目的（育てたい人物像）

多文化共生が求められる社会情勢のなかで、高度な言語運用能力を身につけさせるとともに、専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識等を教授することにより、豊かな教養と真のコミュニケーション能力を身につけた国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目的とする。

国際コミュニケーション学科 ディプロマ・ポリシー【DP1～DP4】
(外国語学部ディプロマ・ポリシー(1)～(7)と対応)

【DP1】 より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力と、多様な学問領域にわたる幅広い教養
(外国語学部DP(1)と対応)
①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー
②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

【DP2】 高度な英語の運用能力
(外国語学部DP(2)と対応)
①英語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝達する力
②英語を使って文化的背景の異なる人々と意思の疎通ができる力

【DP3】 「多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力及びグローバル社会の一員として世界に貢献するための教養と問題解決力」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」
(外国語学部DP(3)、(7)と対応)
①国際関係、国際社会に関する知識や日本の歴史、文化、社会に関する知識を踏まえ、他者と自らの価値を理解し、国際社会の発展に貢献する力
②幅広い教養を身につけ、様々なメディアを駆使し、国際社会における喫緊の話題に関して自らの考えをもって積極的に対話に参加し、問題解決に貢献する力

【DP4】 「グローバル社会において学修者自身及び他者のキャリア形成を構築し寄与する力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」
(外国語学部DP(4)、(5)、(6)と対応)
①国際理解の素養のもと、基本的ビジネスコミュニケーションが日英両語で運用できる力
②相互理解の姿勢のもと、互恵の視座で課題解決に貢献する力
③日々新たな情報を自らとらえ、行動と結びつけられる力

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

国際コミュニケーション学科			
外国語学部 ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学科 ディプロマ・ポリシー	国際コミュニケーション学科 カリキュラム・ポリシー (教育内容)	科目群
(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」 ①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー ②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養	(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」を修得するため、以下のカリキュラムを提供する。 1年次から2年次に「基礎教育科目」として「基礎演習I、II」「キャリアデザインI(基礎)」を配置する。「基礎演習I、II」では大学での学び(特に教養科目、研究科目、演習科目)をより深化させ、効果的に機能させるために「アカデミック・ライティング」「デジタル・シナジーシップ」「クリティカル・リーディング」「教養的思考」及び「キャリアデザイン」に関する能力を修得するための機会を提供する。 「キャリアデザインI(基礎)」では過去・現在・未来に繋がる個人のキャリア形成を学問と社会との接続の視点から継続的に学ぶ力(生涯学習力)を涵養するカリキュラムを編成する。また、各年次に「外国語科目(選択外国語科目)」及び「教養科目」を配置し、12程度の言語のほか、人文科学、社会科学、自然科学分野などの幅広い学問領域をバランス良く学ぶカリキュラムを提供する。	基礎教育科目
			教養科目
(2)高度な言語運用能力	(2)高度な英語の運用能力 ①英語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝える力 ②英語を使って文化的背景の異なる人々と意思の疎通ができる力 ③言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の英語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。 ・卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当に到達することを目標とする。各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。 ※留学生は英語に加えて日本語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝える力を備えていること。	2)「高度な英語の運用能力」を修得するため、各年次に適切なレベルの「英語科目」を配置し、1年次から2年次では「English for International Communication I、II」「Reading/Writing」「Media English」「Advanced Reading」などにより、コミュニケーションに重点をおいた英語を集中的かつ総合的に学ぶカリキュラムを提供する。さらに、3年次から4年次では、「English for International Communication III」などにより、コミュニケーションを題材としたさまざまなテーマを英語で学ぶ、実践的かつ専門的な英語の運用能力を高めるカリキュラムを提供する。 ※外国人留学生には、入学時の語学力に応じたレベルの英語科目及び、日本語総合講座などの日本語科目を提供する。	選択外国語科目
			英語科目
(3)専攻言語及び同言語圏の様々な事柄に関する知識と理解	(3)「多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力及グローバル社会の一員として世界に貢献するための教養と問題解決力」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」 ①国際関係、国際社会に関する知識や日本の歴史、文化、社会に関する知識を踏まえ、他者と自らの価値を理解し、国際社会の発展に貢献する力 ②幅広い教養を身につけ、様々なメディアを駆使し、国際社会における喫緊の話題に関して自らの考えをもって積極的に対話に参加し、問題解決に貢献する力	(3)「多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力及グローバル社会の一員として世界に貢献するための教養と問題解決力」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」を修得するため、各年次に「導入」「基礎」「発展」の「専攻指定研究科目」を配置する。同時に、「コミュニケーション研究(国際コミュニケーション専攻)」及び「国際ビジネス研究(国際コミュニケーション専攻)」コースよりいずれか1コースを選択して指定の研究科目を履修することにより、専門領域に関連した知識を段階的かつ体系的に修得するカリキュラムを提供する。また、専攻内の研究コース、あるいは学科専攻の枠を超えて幅広く学ぶことができるようカリキュラムを編成する。	学科指定研究科目
(7)異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢	(4)「グローバル社会において学修者自身及び他者のキャリア形成を構築し寄与する力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」	(4)「グローバル社会において学修者自身及び他者のキャリア形成を構築し寄与する力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」を修得するため、「専攻指定研究科目」に加えて全学科共通の「研究科目(その他)」を設け、多角的な視点と多面的な知識を養う。その上で、本学での学びの成果を可視化する機会として、3年次から4年次に「演習科目」を配置する。「演習科目」は「研究演習」と「応用演習」からなる。「研究演習」では学術的な観点から研究成果をまとめる。「応用演習」では、実践的かつ幅広い観点から興味・関心を掘り下げ学習成果をまとめる。「研究演習」の成果は、4年次に「卒業研究」としてまとめることができる。	研究科目(その他)
(4)多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力			演習科目
(5)論理的かつ批判的な思考力	(6)社会的な課題の発見と解決に貢献する力	①国際理解の素養のもと、基本的ビジネスコミュニケーションが日英両語で運用できる力 ②相互理解の姿勢のもと、互恵の視座で課題解決に貢献する力 ③日々新たな情報を自らとらえ、行動と結びつけられる力	卒業研究

<技能別語学到達目標>

英語	
読む	<ul style="list-style-type: none"> ・学術的なテキストや講義資料を読み、正確に理解することができる。 ・政治・経済・社会・文化・スポーツなど様々な分野の文章を読み、理解することができる。(国際コミュニケーション専攻) ・ビジネスを扱った文献及び時事をすすんで読み、理解することができる。(国際ビジネスキャリア専攻)
	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的で複雑な話題について、複数の情報を整理して、概要や要点を理解することができる。 ・政治・経済・社会・文化・スポーツなど日常的な話題について、話し手の意図を理解することができる。(国際コミュニケーション専攻) ・体験就業などキャリア形成の場で所属長や顧客の意図を理解することができる。(国際ビジネスキャリア専攻)
理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な話題について、相手の意見を尊重しながら論理的にやり取りをすることができる。 ・日常的な話題について、情報や考え、気持ちを積極的に相手と伝え合うことができる。
聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な話題について、目的に応じて伝達・指導・説得する発表を論理的に展開することができる。 ・日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを明確・正確・簡潔に聞き手に伝えることができる。
やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の講義において、必要に応じて要点を明確・正確・簡潔に書いてまとめることができる。 ・抽象的で複雑な題目について、論理的な文章を書くことができる。
話す	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC®L&Rテスト 800点以上を目指す CEFR B2-C1レベル相当
発表	
書く	
検定	